



● 草の根パートナー型

平成22年度第1回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	ブータン
2. 事業名	ブータン王国ポプジカにおける地域に根ざした持続可能な観光の開発プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ポプジカは絶滅危惧種のオグロツルのブータン最大の越冬地として知られ、海外からの旅行者を中心に、年間6,000人を超える旅行者が訪れる。一方、地域住民は観光による恩恵をほとんど受けておらず、主な生計向上手段はジャガイモの栽培によるもので、決して豊かではない。また、農業による湿地の汚染がツルの生息環境の悪化につながることが懸念されている。
4. プロジェクト目的	本事業では、ブータン政府が新しい観光政策（草案段階）に基づき、自然環境の保全と観光による地域住民への直接的な裨益を目指し、ポプジカにおいて、ホームステイの設立支援や、ローカルガイドの育成、地元の土産物の開発支援等を行うことにより、地域主体の持続可能なツーリズム（CBST）の確立を目指し、地域住民たちがツルや自然環境、文化遺産が地域の資源として重要であると意識されることを目標としている。
5. 対象地域	ブータン王国ウオンディ・ポダン県ポプジカ地域
6. 受益者層	対象地域の住民約4,700人（約490世帯）
7. 期待される成果及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. CBSTに関するステアリングコミッティがポプジカに設置される。</li> <li>2. ポプジカのCBSTの方向性が明らかになる。</li> <li>3. CBSTに関するスタディツアーが実施される。</li> <li>4. CBSTに関するルールがポプジカにおいて作成される。</li> <li>5. ポプジカにおけるCBSTが設置される。</li> <li>6. ポプジカにおけるCBSTが旅行者や関係機関に広く知られるようになる。</li> <li>7. ポプジカにおいてCBSTに関するネットワークが強化される。</li> <li>8. CBST事業の結果、ポプジカで社会経済的な利益が分析される。</li> <li>9. CBST事業のモニタリング・評価が行われる。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポプジカにおけるCBSTに関するステアリングコミッティを設置する。</li> <li>2. ポプジカのCBSTの方向性を明らかにするために、既存のエコツアーの見直しを行う。</li> <li>3. ポプジカにおけるCBSTのイメージを決定するために、地域の代表者を対象としたスタディツアーを実施する。</li> <li>4. CBSTに関するルールを作成し、地域内での合意をもとに取り決める。</li> <li>5. CBST商品を開発する（ホームステイプログラムの策定、ガイド研修の実施、ツル観察小屋の設置、お土産・手工芸品作り、ツアーパッケージの開発、ボードウォークの改良）。</li> <li>6. ポプジカにおけるCBSTのプロモーション、マーケティングを実施する。</li> <li>7. ポプジカにおけるCBSTに関わるネットワークを構築し、強化する。</li> <li>8. ポプジカにおけるCBSTについて費用分析を行う。</li> <li>9. 中間評価及び終了時評価を行う。</li> </ol>
8. 実施期間	2011年5月～2014年10月（3年6ヵ月）
9. 事業費	55,600千円
10. 事業の実施体制	カウンターパート機関は現地NGOである王立自然保護協会（Royal Society for Protection of Nature）とする。プロジェクトマネージャー及び専門家（ホームステイ、ガイド研修、土産品開発、プロモーション、マーケティング）を対象地域に短期派遣するとともに、日本国内に国内調整員1名を配置する。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	公益社団法人日本環境教育フォーラム
2. 活動内容	環境教育の普及、自然学校の普及、途上国の環境教育支援を通して世界の課題である持続可能な社会づくりに貢献する